

# アロバビュークライアント(MSI インストーラー版) 導入 & 起動操作マニュアル

---

初版 2020/02

## 目次

1 はじめに.....	3
2 おことわり.....	4
3 動作環境.....	5
3.1 アロバビュー対象バージョン.....	5
3.2 クライアントランチャー.....	5
3.3 対応ブラウザ.....	5
3.4 その他.....	5
4 導入.....	6
4.1 全体の流れ.....	6
4.2 パッチプログラム適用対象サーバー.....	6
4.3 パッチプログラム適用手順.....	6
4.4 クライアントランチャー インストーラー ダウンロード手順.....	8
4.5 クライアントランチャー インストール手順.....	9
4.6 クライアント起動手順.....	14
4.7 アロバビュークライアントの起動後は.....	16
4.8 クライアントアップデート手順.....	18
4.9 即座に更新したい場合.....	21
4.10 クライアントランチャーの削除.....	24
4.11 パッチプログラム削除手順.....	25
5 FAQ.....	27

## 1 はじめに

---

本書では、MSI 形式 (Windows Installer 標準ファイル形式) のインストーラーで提供されるアロバビューククライアントの導入手順、起動操作について説明します。

従来、アロバビューククライアントのインストール、ならびに起動には IE11 (Microsoft Internet Explorer 11) を管理者権限で起動する必要がありましたが、本機能を導入することにより、IE11 を使用しないインストール、管理者権限不要のアロバビューククライアント起動が可能となります。

## 2 おことわり

---

- 本書は、本書作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づいて作成されています。その後、ソフトウェアのバージョンアップ等により、本書に記載されている内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっていることがあります。
- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず禁じます。
- 本書の内容については、万全を期して作成していますが、わかりにくい表現や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。
- アロバビュー、ArobaView は株式会社アロバの登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における、商標ないし登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本マニュアルには™マーク、®マークは記載していません。

## 3 動作環境

---

### 3.1 アロバビュー対象バージョン

- ArobaView Enterprise Server V4.1.0 以降
- ArobaView Recording Server V4.1.0 以降

### 3.2 クライアントランチャー

クライアントランチャーの動作に必要なクライアント環境は以下の通りです。

- Microsoft Windows 10 以降が動作する PC
- .NET Framework 4.6.1 以上

### 3.3 対応ブラウザ

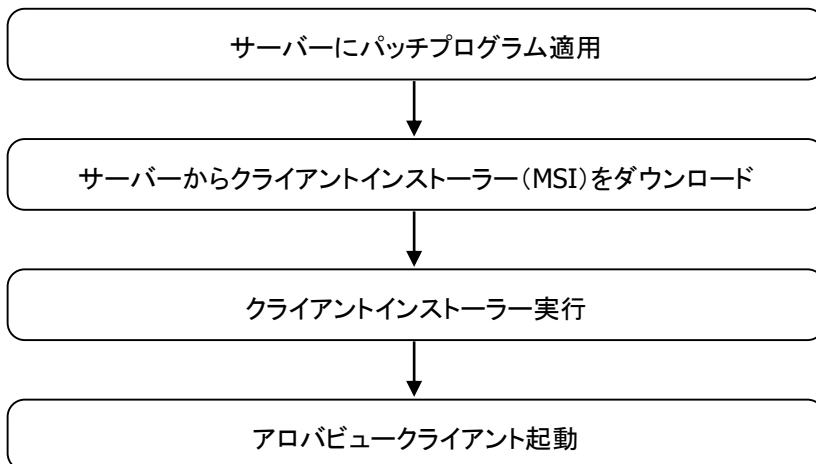
- Microsoft Edge 最新版
- Google Chrome 最新版
- Mozilla Firefox 最新版

### 3.4 その他

「3.1 アロバビュー対象バージョン」の各製品仕様に準じます。

## 4 導入

### 4.1 全体の流れ



### 4.2 パッチプログラム適用対象サーバー

【サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)を導入している環境の場合】

エンタープライズサーバーにパッチプログラムを適用します。

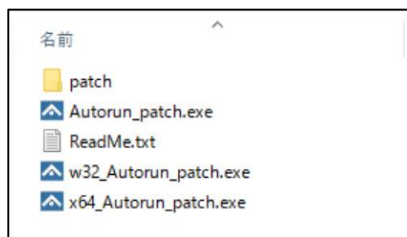
【カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー) のみ 導入している環境の場合】

レコーディングサーバーにパッチプログラムを適用します。

### 4.3 パッチプログラム適用手順

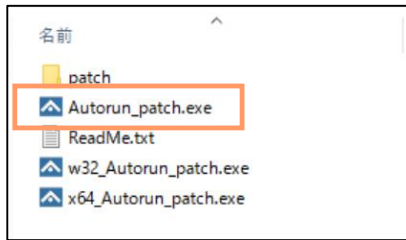
※当パッチプログラム適用による各種サービスの停止・開始はありません。

1. パッチプログラム適用対象のサーバーに管理者権限を有するアカウントでサインインし、適当な作業用フォルダにパッチプログラムを展開します。

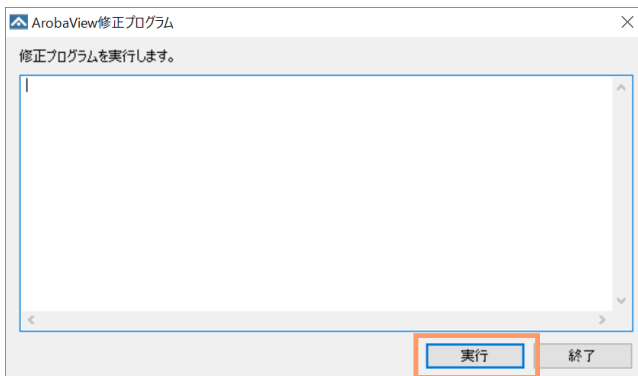


2. サービスコントロールセンターが起動している場合は終了します。

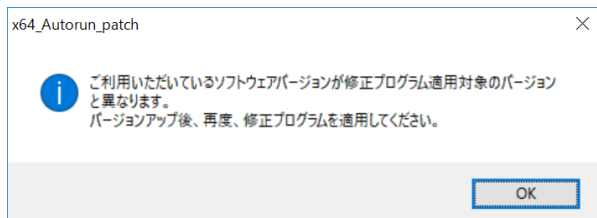
3. 展開されたファイル群から Autorun\_patch.exe を起動します。



4. [実行]ボタンをクリックします。

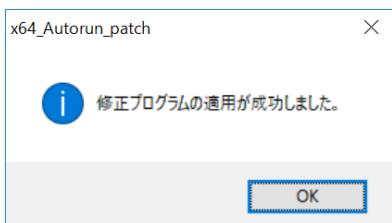


[実行]ボタンクリック後に下記ポップアップが表示される場合、対象サーバーのバージョンが「3.1 アロバビュー対象バージョン」に該当するか確認してください。



※サービスコントロールセンターを起動し、バージョン情報でバージョンを確認できます。

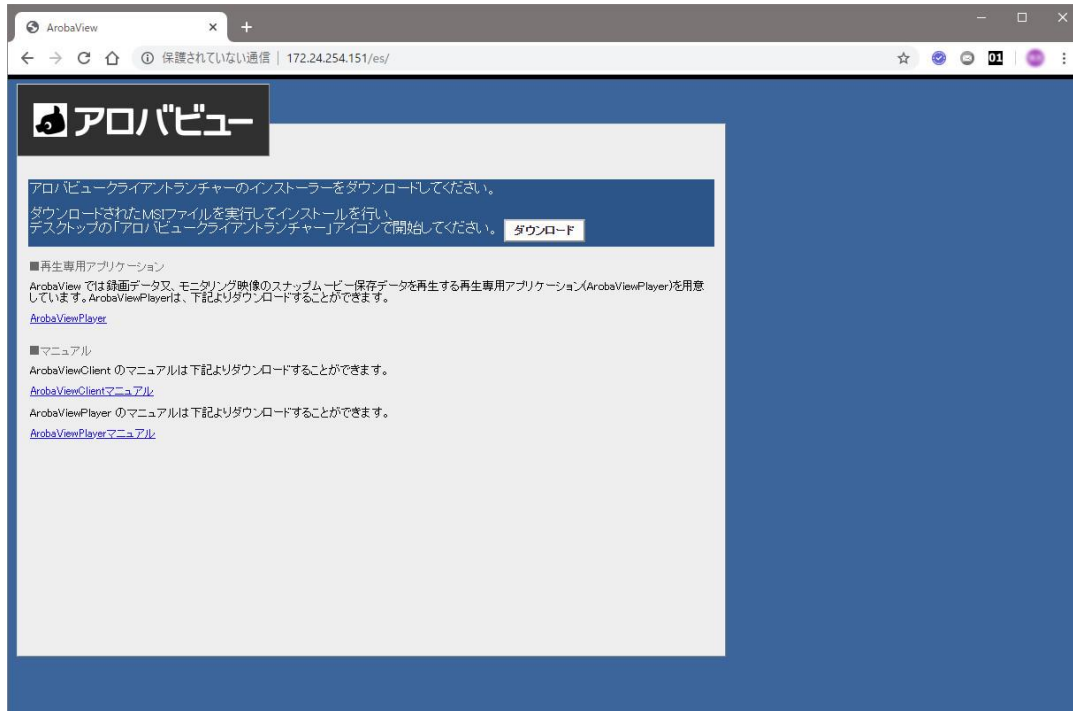
パッチプログラム適用が完了すると、下記ポップアップが表示されます。



## 4.4 クライアントランチャー インストーラー ダウンロード手順

1. クライアント PC で Web ブラウザを起動し、パッチプログラムを適用したサーバーに接続します。

※URL には <http://<サーバーの IP アドレスまたはホスト名>/> を指定してください。



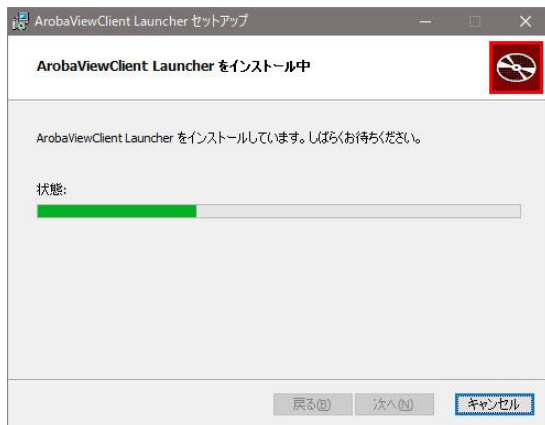
2. 画面に表示されている「ダウンロード」ボタンをクリックし、インストーラーファイルを適当な作業用フォルダに保存します。

## 4.5 クライアントランチャー インストール手順

1. 「4.4 クライアントランチャー インストーラー ダウンロード手順」でダウンロードしたインストーラーを起動します。
2. 下記画面が表示されたら、画面のガイドメッセージの通り作業を進めます。  
・「使用許諾契約書に同意します(A)」のチェックボックスを入れ、「インストール」ボタンをクリックします。

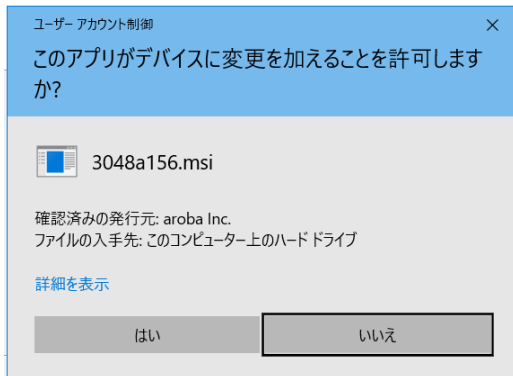


・ArobaViewClient Launcher のインストールが開始されます。

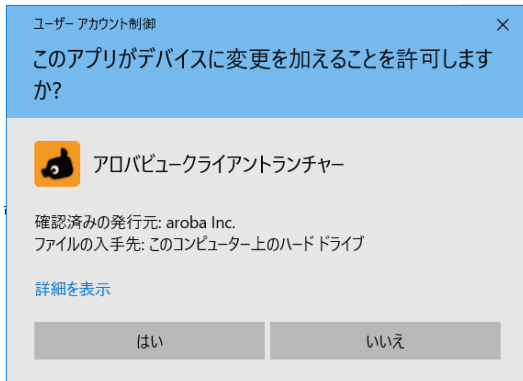


3. 管理者権限に昇格します。

※昇格手順はクライアント PC のポリシーにより異なります。画面表示に応じて昇格作業を進めてください。  
ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



引き続き、ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

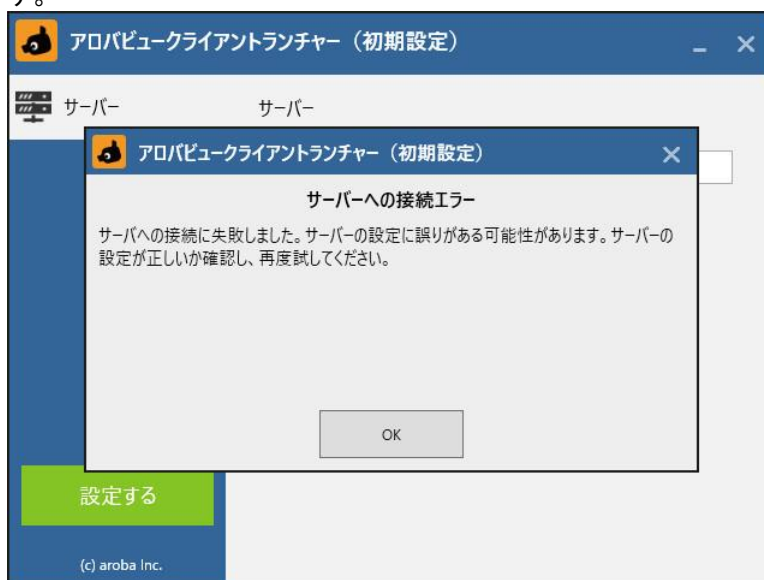


4. 「アロバビュークライアントランチャー(初期設定)」画面では、サーバーのホスト名(IP アドレスでも可)、接続ポート番号、SSL/TLS 有効／無効を指定します。



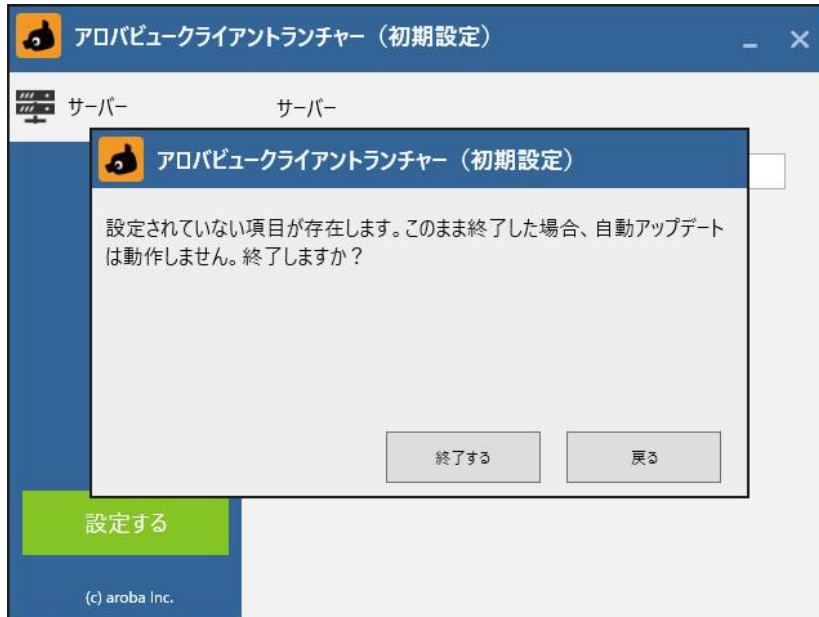
「設定する」ボタンをクリックすると、サーバーへの接続テストが実行されます。

接続に成功した場合はそのまま次の画面に進みますが、エラーになった場合が次のポップアップが表示されます。



この場合は「OK」ボタンをクリックし、「アロバビュークライアントランチャー(初期設定)」画面で正しい情報を設定し直してください。

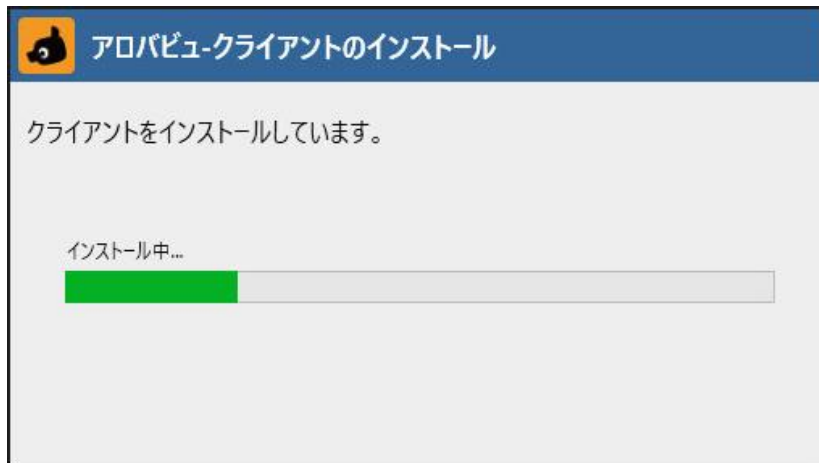
また、接続情報を設定せずに[×]をクリックすると、次のポップアップが表示されます。



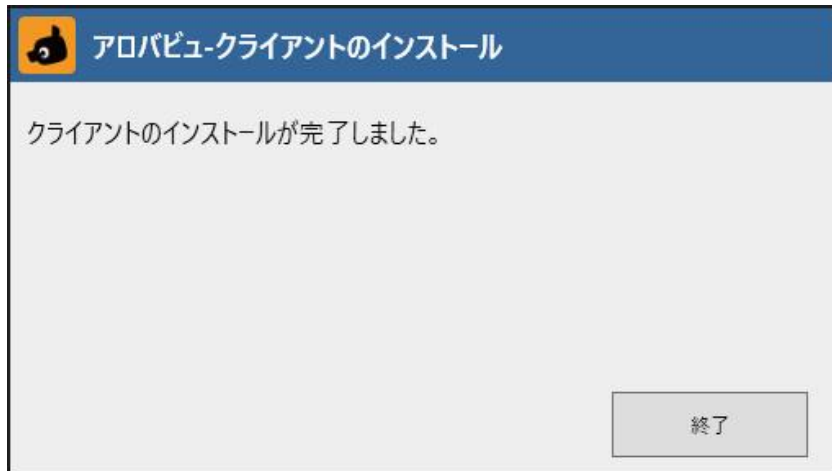
このまま終了すると自動アップデートが無効となります。

(インストール後に設定することは可能です(「4.7 アロバビュークライアントの起動後は」参照))

5. 接続情報設定後、アロバビュークライアントのセットアップ処理が実行されます。



6. インストールが完了すると、下記画面が表示されるので[終了]ボタンをクリックして終了します。



## 4.6 クライアント起動手順

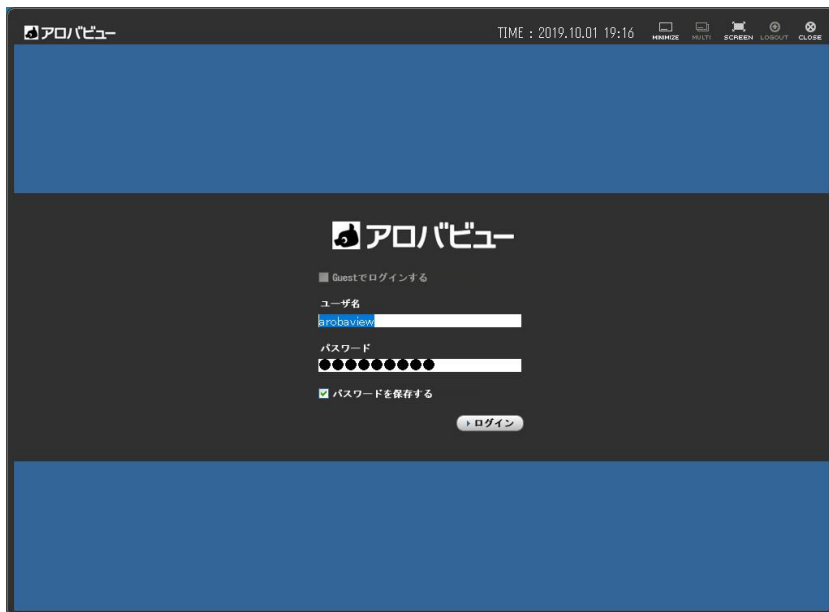
1. デスクトップの「アロバビュークライアントランチャー」アイコンを起動します。



2. 初期設定時に入力されたサーバー情報を確認後、「起動」ボタンをクリックします。



3. 「起動」ボタンをクリック後、サーバーへの接続チェックを行い、アロバビュークライアントが起動します。



※起動ユーザーが管理者権限を有する場合は「サーバー」設定を変更できます。

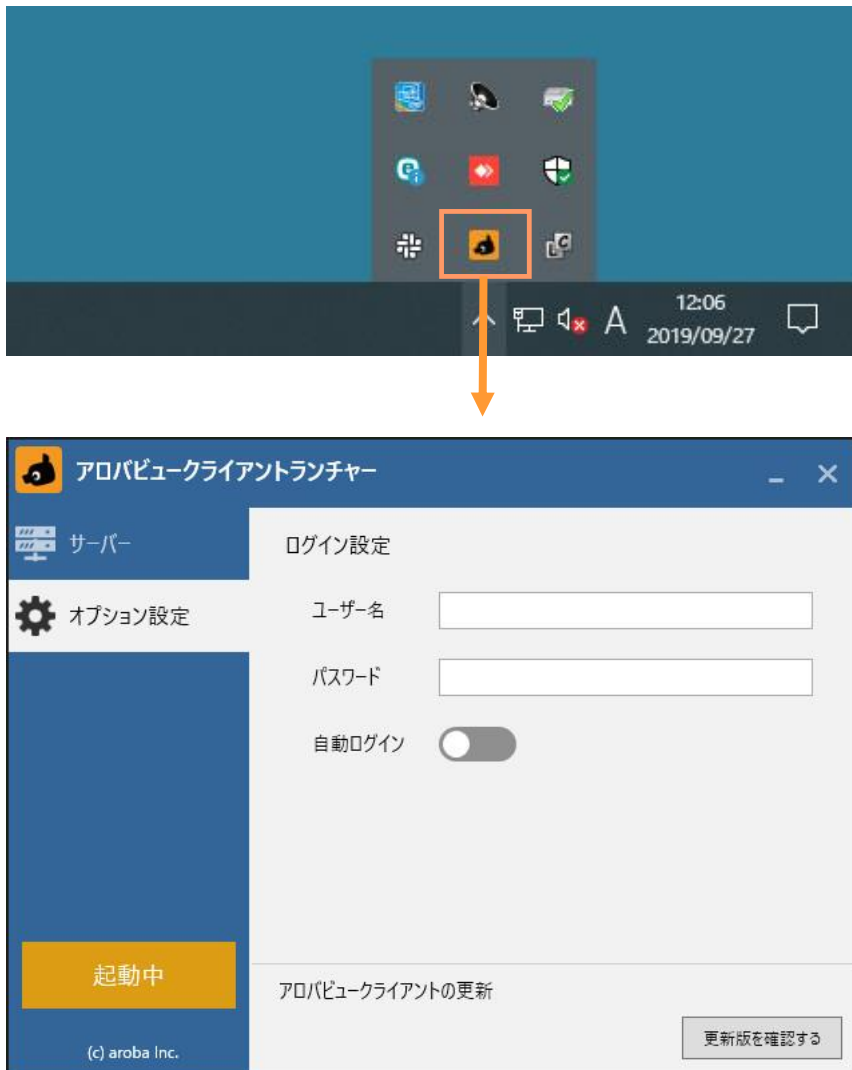


## 4.7 アロバビュークライアントの起動後は

アロバビュークライアントを起動した後、ランチャーはタスクトレイへ常駐します。

常駐している間にクライアントが不正終了した場合や、一定時間応答が無かった場合、自動的にクライアントを再起動します。

アロバビュークライアント起動後、タスクトレイアイコンをクリックすると、接続設定画面が起動します。



ユーザー名、パスワードを設定すると、アロバビュークライアントのログイン画面で自動的に入力されます。さらに自動ログインを有効にすると、自動的にログインします。

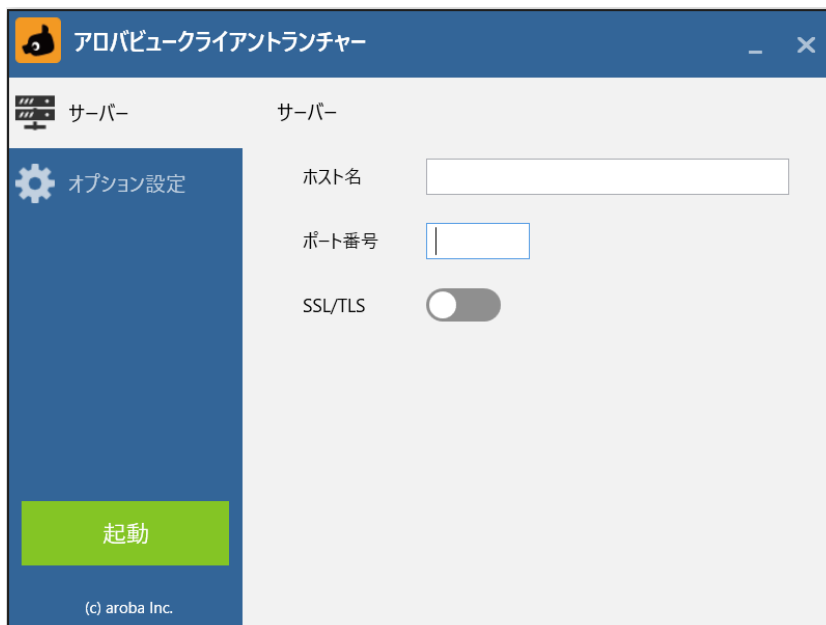
・設定の変更

※設定の変更を反映させるためには、一度アロバビュークライアントを終了する必要があります。

デスクトップの「アロバビュークライアントランチャー」アイコンを右クリックし「管理者として実行」をクリックします。



「アロバビュークライアントランチャー」画面では、サーバーのホスト名(IPアドレスでも可)、接続ポート番号、SSL/TLS有効／無効を指定します。



## 4.8 クライアントアップデート手順

クライアントアプリケーションの更新がある場合、下記の更新処理が実行されます。

### 【アロバビュークライアントが起動されていない場合】

自動的に更新されます。※何も操作する必要ありません。

### 【アロバビュークライアントが起動されている場合】

更新が通知されますので、手動で更新します。

以下に、手動での更新手順を説明します。

1. アロバビュークライアント起動中に更新があると、下記の通り通知されます。



上記通知エリアをクリックすると、更新手順に進みます。

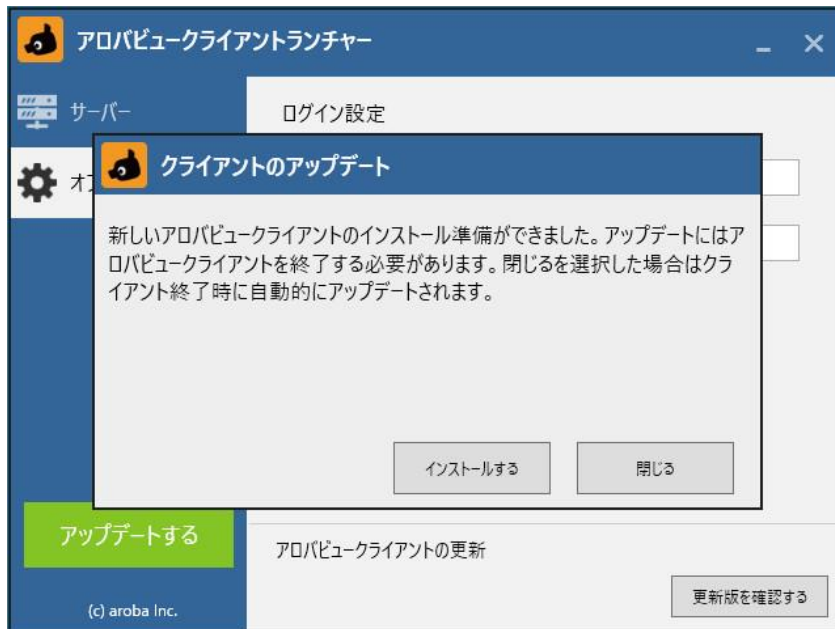
[X]をクリックすると通知を非表示にしますが、タスクアイコンから更新処理が可能です。

または、アロバビュークライアントの終了後に自動で更新されます。

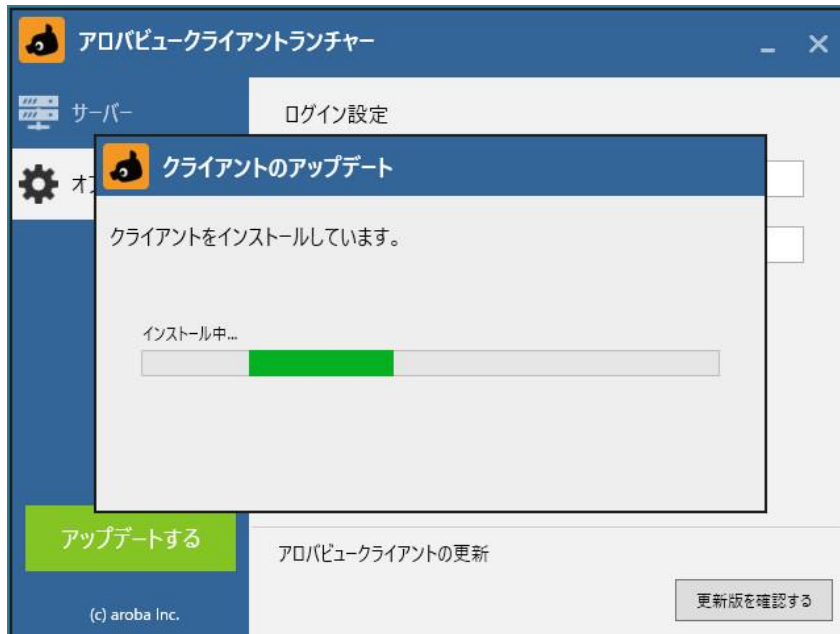
2. 接続設定画面が表示されますので、アップデートする場合は[アップデートする]ボタンをクリックします。



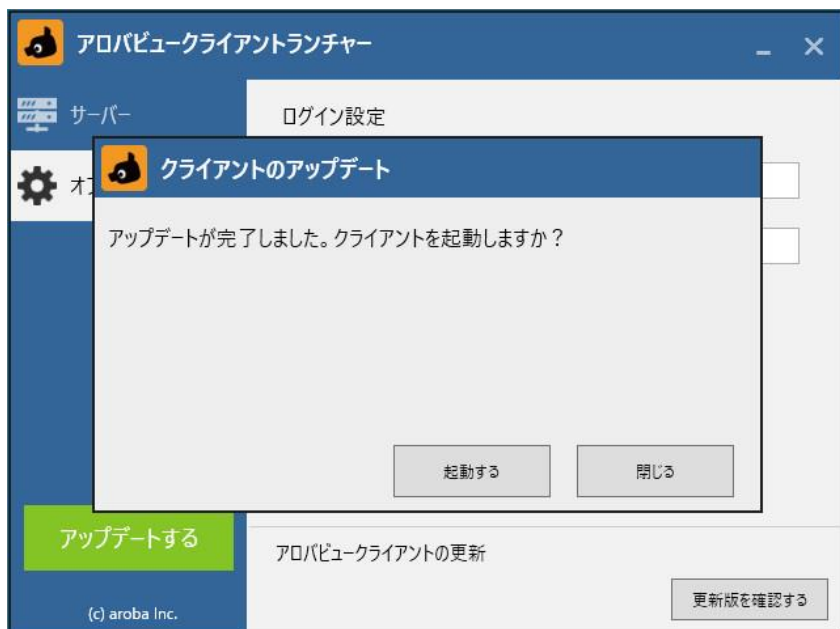
3. [インストールする]をクリックすると、アロバビュークライアントを終了し、アップデート処理に遷移します。



4. アップデート処理中は下記ポップアップが表示されます。



5. アップデート完了後は接続設定画面に戻ります。  
[起動] ボタンクリックでアロバビュークライアントを起動します。

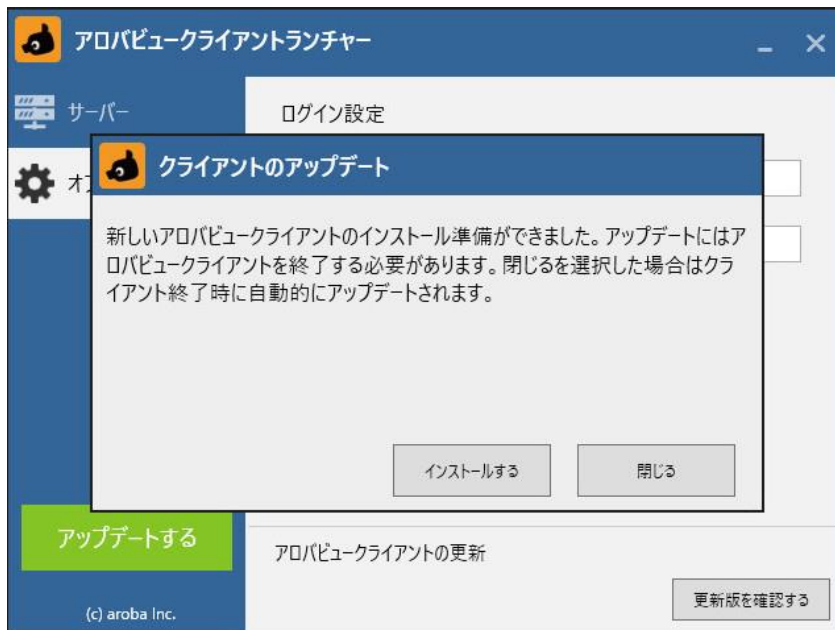


## 4.9 即座に更新したい場合

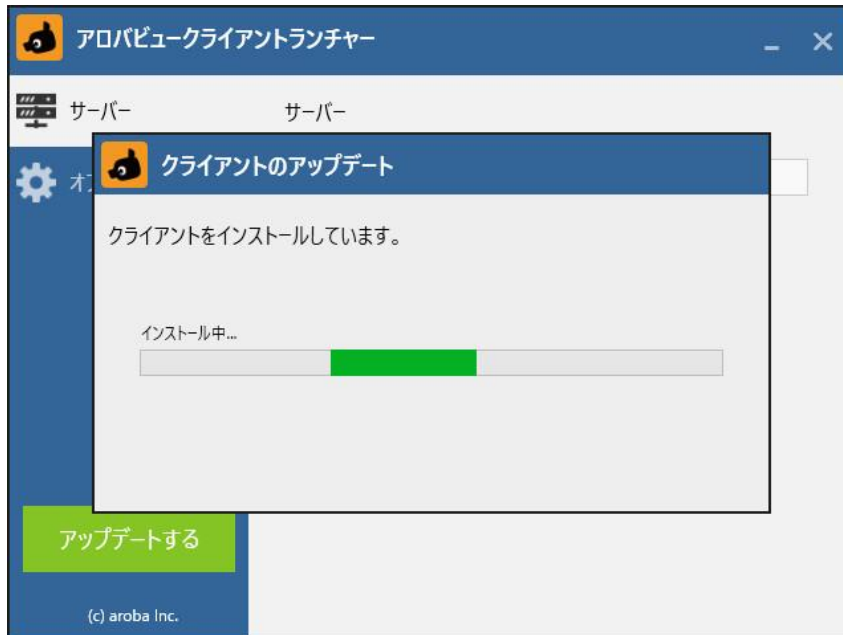
1. 即座に更新したい場合は[更新版を確認する]ボタンをクリックします。



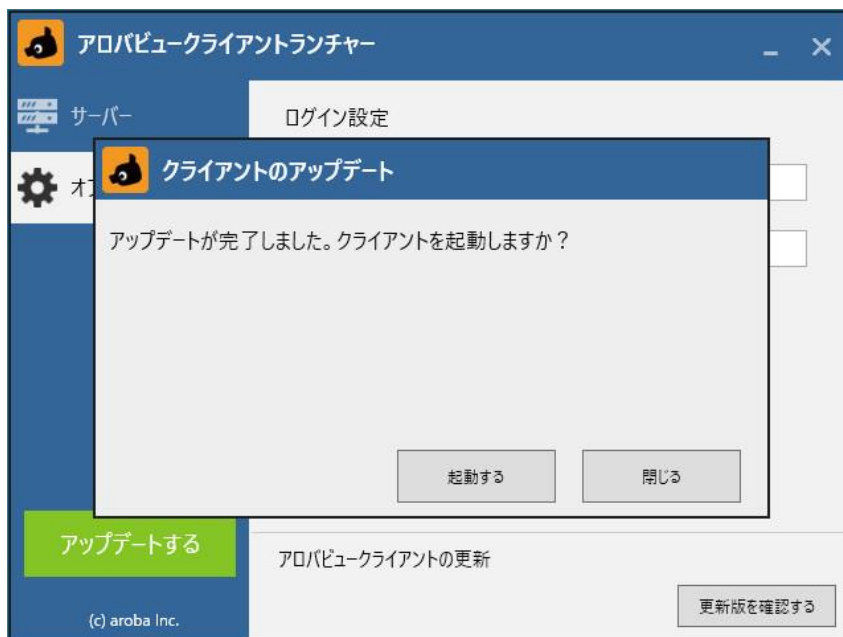
2. [インストールする]をクリックすると、アロバビュークライアントを終了し、アップデート処理に移ります。



3. アップデート処理中は下記ポップアップが表示されます。



4. アップデート完了後は接続設定画面に戻ります。  
[起動する]ボタンクリックでアロバビュークライアントを起動します。

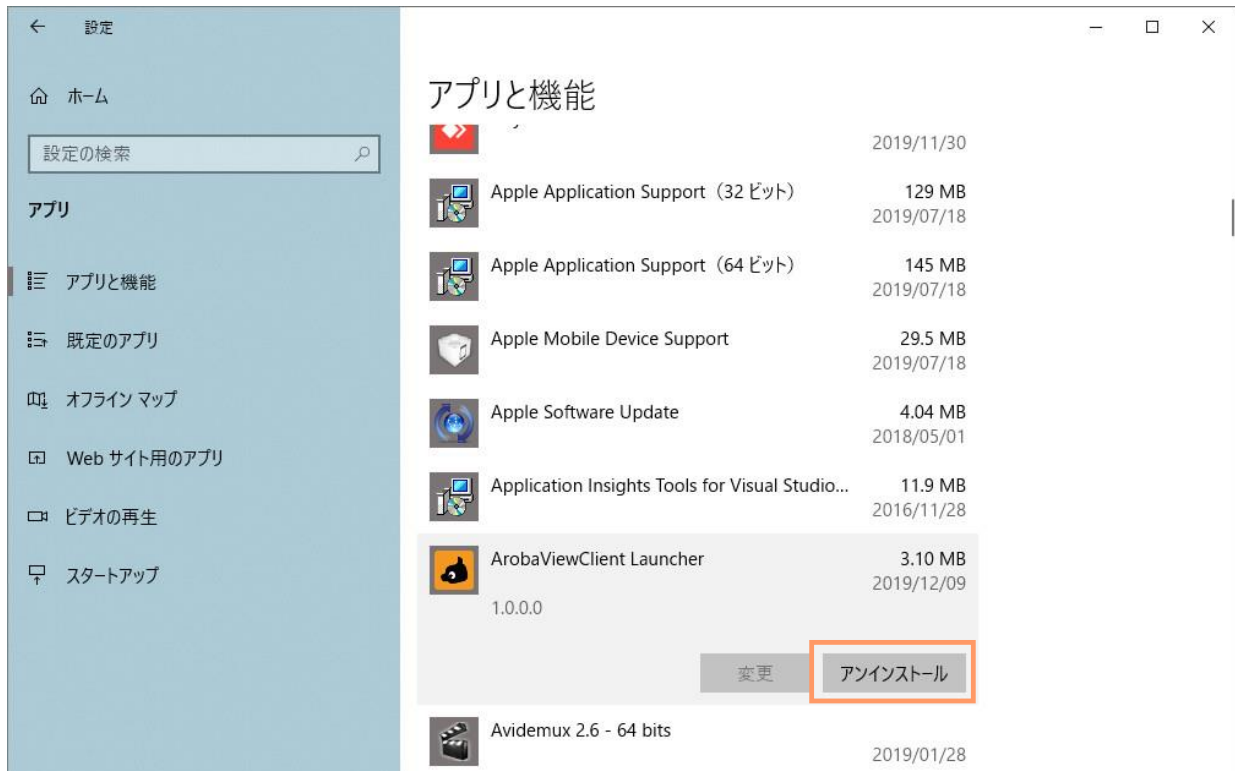


5. 更新がない場合は下記ポップアップが表示されます。



## 4.10 クライアントランチャーの削除

1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし[設定]>[アプリ]>[アプリと機能]の中の[ArobaViewClient Launcher]を選択し、[アンインストール]をクリックします。



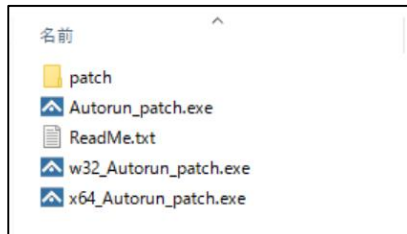
2. リストから[ArobaView for Windows Recording Server]が削除されていることを確認します。

以上でアロバビューのアンインストールは完了です。

#### 4.11 パッチプログラム削除手順

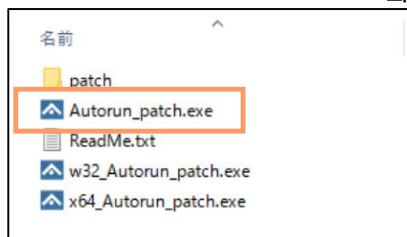
※当パッチプログラム適用による各種サービスの停止・開始はありません。

1. クライアントインストーラーロールバックパッチプログラム適用対象のサーバーに管理者権限を有するアカウントでサインインし、適当な作業用フォルダにクライアントインストーラーロールバックパッチプログラムを展開します。

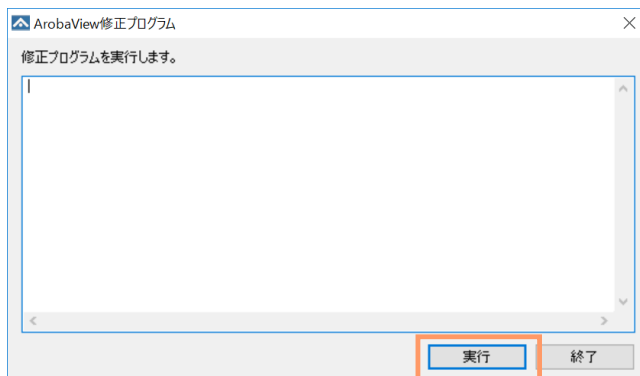


2. サービスコントロールセンターが起動している場合は終了します。

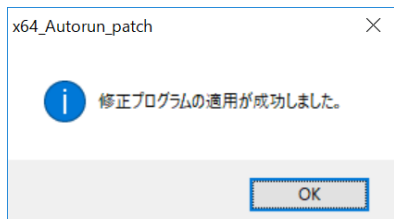
3. 展開されたファイル群から Autorun\_patch.exe を起動します。



4. [実行]ボタンをクリックします。

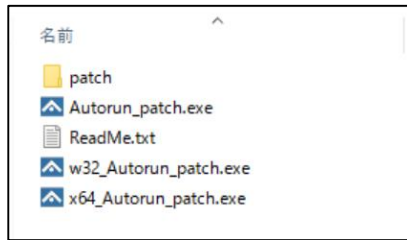


クライアントインストーラーロールバックパッチプログラム適用が完了すると、下記ポップアップが表示されます。



<OK>をクリックし、「ArobaView 修正プログラム」ボックスの<終了>をクリックしてプログラムを終了してください。

5. 手順1でコピーしたファイルとフォルダを削除します。



【適用に失敗する場合】

Windows のセキュリティ機能(ZoneID によるブロック)により、パッチに含まれるファイルへのアクセスが制限されている場合があります。

本パッチの ZIP ファイルを展開する前に、ZIP ファイルのプロパティを開き「ブロックの解除」と「適用」をクリックして制限を解除した上で、ZIP ファイルを展開してください。

## 5 FAQ

---

ここでは FAQ について解説しています。

**Q: ログイン ID、パスワードを忘れた**

A: システム管理者にお問合わせください。

**Q: ログインできない**

A: ユーザ ID とパスワードは間違っていないですか？

サーバーでアロバビューサービスが開始されているかを、システム管理者に確認してください。

**Q: バージョンを確認したい**

A: “C:\Program Files (x86)\Triworks\ArobaViewClientLauncher” の中にある ArobaViewClientLauncher.exe を右クリックし、[プロパティ]>[詳細]の中の[ファイル バージョン]にて確認します。

**Q: ランチャーのショートカットを間違えて消した場合にショートカットは再作成されますか？**

A: 自身で作成する必要があります。“C:\Program Files (x86)\Triworks\ArobaViewClientLauncher” の中にある ArobaViewClientLauncher.exe のショートカットの作成をしてください。